

三八教育新聞

2018.9.21

青森県教職員組合三八支部
031-0073 八戸市売市一丁目8-20
TEL FAX 0178-437773
タウンハウス野沢D-2

安倍政権は、辺野古の新基地、秋田と山口への「イジス・アシア」配備に執着。借金つけ払いでトランプに兵器購入を約束して、来年度の軍事費予算は過去最大で5.3兆円です。「軍事費を教育と福祉にまわせ!」は主権者である国民の声です。

夏の地教委キャラバン

県教組三八支部は、今年度も8月1日から10日にかけて三八管内7市町村教育委員会を訪問し、懇談を持ちました。

教職員の未配置

今年度、県内でも4月の段階で人員配置が決まらず、欠員のまま新年度が始まったという事例がありました。三八管内の市町村ではそのようなことはなかったとのことでしたが、年度途中の休暇等にたいする代替職員の配置はとも厳しい状況です。初任者研修の非常勤講師も不足、これまで配置されていた長期研修の講師は、始めから配置しないことになっています。本来、正規で配置すべき人員を講師の任用で埋めため、ピンチヒッターをお願いできる方がいなくなっています。

多忙化解消と教職員の時間管理

多忙化解消検討委員会の報告を受けて県教委が通知を出してから2年。国の「働き方改革」の動きもありますが、具体的な対策が今ひとつ感じられません。例えば時間管理については教職員が自ら意識して取り組める環境を作るべきだと思います。PCでの記録(八戸市)やタイムカード(新郷村)を導入している自治体もありますが、残念なことに、特に具体策をとっていないと述べたところもありました。また、指導要録の電子化は八戸市・三戸町では実施していますが、それ以外の町村はまだ検討中、あ

公務員をめぐる定年延長問題

政府は国家公務員の定年を段階的に2033年度までに65歳にする方針を出した。報道では法改正を来年の通常国会で行い、2021年度から3年ごとに1歳ずつ延長する方向だといわれている。地方公務員もこの動きに合わせて引き上げが予想される。

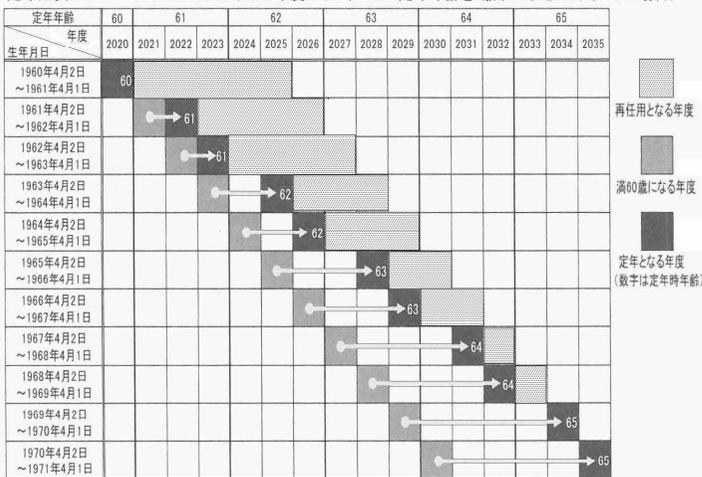
21年度は段階的に引き上げられている年金の報酬比例部分支給が65歳となる最初の年度にあたる。つまり5年間は無年金となり、生活を支えるためには現在の再任用制度でつなぐことになるが、希望者が確実に再任用される保障はなく、「雇用と年金を確実に接続する」方法として「定年延長」がより有効であるといえる。

人事院は今回の勧告に併せて65歳定年延長のために法改正を求めている。具体的な時期などの言及はないが、「役職定年制」「給与水準は60歳前の7割」「定年前退職者の短時間勤務制」などを提起している。

問題は、現在の再任用者の職務内容がそのまま給与水準が低く抑えられており、同じ職務内容で60歳以下の正規・定年延長の60歳超の正規・定年後の再任用者・臨時職員との賃金・労働条件格差がまかり通ることになる。現役との均等な待遇改善が必要である。

教職員については、現在再任用が定数内での任用となっており、今後定数減で新規採用との兼ね合いで希望通りとならない可能性が。定年延長と再任用にかかる独自の定数措置が不可欠である。また、言及はないが退職手当が定年延長後も現行の支給水準を確保するように求めなければならない。などなど問題は山積している。

定年延長のシミュレーションモデル(2021年度から3年ごとに定年年齢を1歳ずつ引き上げた場合)

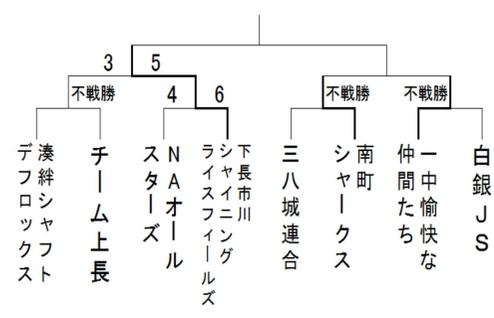


夏の協力カンパありがとうございました。

- 長者小 鮫中 上郷小
- 江陽小 下長中 名川南小
- 湊小 是川中 向小
- 根岸小 明治中 福地小
- 明治小 市川中 名川中
- 豊崎小 東中 南部中
- 第一中 中沢中 福地中
- 第二中 島守中 階上中
- 第三中 三戸小中 新郷中
- 江陽中 五戸小
- 白銀中 切谷内小
- 白銀南中 川内中

合計 363,508円 (9/3現在)

八戸市教職員野球大会は8チームの闘い



- 参加チーム紹介(申込み順)
- 一中J.S 愉快的仲間たち (一中・中居林小・吹上小・小中野小・青潮小・多賀台小連合)
 - NAオールスターズ (多賀小・下長小・城北小・高館小・轟木小・湊小・南郷小・大久喜小連合)
 - 三八城連合(二中・八戸小・城下小連合)
 - チーム上長(三条小・西園小連合)
 - 下長市川シャイニングライズフィールズ (下長中・市川中)
 - 南町シャークス (白銀南小・白銀南中・町畑小・鮫小・鮫中連合)
 - 白銀J.S (白銀中・白銀小・白鷗小連合)
 - 湊絆シャフトデフロックス(湊中)
- 予選はすでに終盤。9月29日か30日が決勝戦。ケガだけはしませんように!

小学校も八戸市は来年3月ごろを予定しています。三戸町では第3子以降の子育てサポート祝金制度(出生18歳の間に総額267万円支給)を新設しました。そのほか、高校卒業まで医療費無料(南部町)、給食費無償化継続(新郷村・南部町)、小5のピロリ菌検査(田子町)など、各自自治体で支援の施策が広がっています。ただ、子どもの減少に歯止めがかからず、現在、新郷村や階上町では学校統合の動きがあります。また南部町でも検討の段階にきているとのことでした。

各市町村とも、丁寧に対応してください。

ゆきとどいた教育を考える三八の会は、なんでも懇談会を開催しスマホ・SNSの実状や課題を話し合います。9月29日(土)13時~16時 八戸市スポーツ研修センターにて。事前申込不要。